

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyar@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 英樹  
幹事 石川 泰隆  
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3233回例会プログラム

[当年度=31回目；当月=1週目]

2024年（令和6年）4月1日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:15 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉

3. 開会宣言

4. 国歌斉唱

5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想

6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

7. 副会長挨拶並びに副会長報告

8. 退会会員挨拶……………滝 茂和 会員

9. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

10. 幹事報告

11. 副幹事報告

12. 出席報告

13. 委員会報告

14. ニコニコボックス報告

15. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(4/8) ……休会

(定款第7条第1節 (d))

(4/15) ……

卓話 「愛知県の発酵食品について」

講師 あいち産業科学技術総合センター

食品工業技術センター

センター長 山本 晃司 様

(紹介者 中川 耕児 会員)

## 2. クラブフォーラム……………〈公共イメージ向上委員会〉

13:00 卓話 「地域メディアとしての

キャッチネットワークの30年」

講師 株式会社キャッチネットワーク

お客様満足創造本部感動メディア2課

石川 雅章 様

(紹介者 小川 耕示 会員)

16. 謝辞

17. 点鐘……………〈副会長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

## ゲ ス ト



青少年交換学生 エマ・レヒティマキ さん

## 出 席

会員総数 95名 出席免除 27名

出席義務者+免除者の内例会出席者 84名

欠席 10名 出席率 88.10%

前々回(3/18)の修正出席率 100%

## 幹 事 報 告

- 1) FC刈谷の「茂庭新監督就任報告会」に会長の代理で参加をしてきました。
- 2) 2024-25年度版「ロータリー手帳」の申込を回わさせていただきます。
- 3) 本日例会終了後に特別会議室にて、第10回の理事会を開催致します。関係の会員はご参加をよろしくお願い致します

## 副 幹 事 報 告

- 1) 4月7日(日)名古屋マリオットアソシアホテルにて、地

区研修協議会がごさいます。関係の会員は出席よろしくお願ひ致します。当日 JR 刈谷駅にて磯村会員がお待ちしております。詳細につきましては、メール等にてお知らせさせていただきます。なお、駐車場の用意はありませんので、公共交通機関をご利用お願ひ致します。

## 副会長あいさつ

毛 受 豊



皆さんこんにちは 副会長の電気屋めんちゃんです。

本日は電気火災についてのお話をさせていただきます。

### ◆背景

・近年大地震が多発しており、直近では下記の地震が発生しています。

- ①1995年：阪神・淡路大震災 火災139件中85件電気火災
- ②2011年：東日本大震災 火災110件中71件電気火災
- ③2016年：熊本地震 詳細データ無し
- ④2024年：能登半島沖地震

詳細データ無し（240棟が焼失した火災の要因は電気火災と判明）

上記のように震災時の火災の約6割は電気火災であります。

### ◆震災時の火災発生の流れ

- ①地震発生時に電気を使用している機器がある。（電気ストーブやこたつ、ドライヤー等）
- ②地震により停電の発生。
- ③大地震の際は津波からの避難や土砂崩れ等を懸念し避難所へ避難。
- ④避難時に停電したことによる電気の消し忘れ（ブレーカの遮断忘れ）
- ⑤停電が解消され、復電した際に電気ストーブにかかっている衣類等が発火やたんす等が倒れて電線が破れてそこからの発火。

等々により火災が起こります。

避難していなくても、復電したことにより安堵して、火災が発生する危険性に対する意識の薄さから電気火災の発見が遅れる。

### 電気火災の最大の要因

多くの被災者が自身や家族の命を守るのに必死の為、ブレーカを落とすことを考える余裕が無く、ブレーカを落とし忘れて避難してしまう。

### ◆感震ブレーカの特徴

- ①震度5強相当以上の地震を検知した際に動作します。
- ②地震を検知後、ブレーカ遮断時間を選択可能。

[選択時間：3分、1分、即時]

地震を検知してから遮断までの時間を設けている理由は夜の地震発生時は地震を検知した際に即時に電気を遮断してしまうと照明が消えてしまい避難する際に足元が見えづらく避難が困難になってしまう為、地震を検知してから遮断時間までに時間を設けてあります。

### ◆主な感震ブレーカが実際に導入されている場所

- ①久能山東照宮（国宝）：静岡県
- ②富士山本宮浅間大社（世界文化遺産）：静岡県
- ③善光寺（国宝）：長野県
- ④松本城（国宝）：長野県
- ⑤札幌市時計台（国指定重要文化財）：北海道

上記の様に重要文化財に感震ブレーカを導入されています

・地震発生時は重要文化財のブレーカを落としに行く人がいないことがあり、重要文化財の為、未然に電気火災を防止するための保険として導入しています。

重要文化財のみならず、数多くの個人住宅にも設置しているとよいですね。

市町村によっては感震ブレーカに対して補助が出ることもあります。火災保険の様に毎年支払うお金とは違い、一度導入していただければ、地震による電気火災を防止することになります。（興味を示してもらおうとありがたい）。震災時とは異なる電気火災事例

### ・沖縄の首里城の火災

火災発生要因が電気火災と言われております。老朽化した電線、湿気や埃を帯びたコンセント等からの火災発生の原因ではないかと言われております。

電線の老朽化等の発見がなかなかされずらい環境下にあります。

個人宅でもテレビ裏のコンセント周りは埃が溜まりやすい為、「感震ブレーカ」と一緒に「放電検出ユニット」も導入されるとよいと思います。

「放電検出ユニット」は老朽化した電線、湿気や埃を帯びたコンセントから発せられる電氣的なノイズを検知し、警報音を発して伝達とブレーカを自動遮断する装置もあります。

以上、電気火災のお話でした。



## 退会会員あいさつ



滝 茂和 会員

## お 祝 い

4月の会員の誕生日…嶋津孝久、杉浦文雄、深谷嘉英、毛受豊、奥野櫻子、關淳之会員。

配偶者の誕生日…神谷真由美(龍司)、塚本真知子(幸夫)、橋本貴美(恭典)、加藤真由美(繁則)、佐野成美(眞琴)、佐野三恵(彰彦)、花井春香(淳)様。

結婚記念日…原田光二、岡本巧、室殿豊、南康、嶋津孝久、出口達也、杉浦裕司、神谷強、宮地秀将会員。

4月度入会記念日…野村重彦、前田孝司、橋本恭典、毛受豊、太田宗一郎、今村順、伊藤節夫、奥野櫻子、中林久美、關淳之、磯村巖、黒田栄一、前田春実、赤川一好会員。

## 金婚式のお祝い



岡本 巧 会員

## クラブフォーラム

### 卓話「地域メディアとしての キャッチネットワークの30年」

講師 株式会社キャッチネットワーク  
お客様満足創造本部感動メディア2課  
石川 雅章 様



この地方のケーブルテレビ局、キャッチネットワークです。刈谷市を始め、旧碧海地方と西尾市の計6市で、テレビ・インターネット・電話のサービス提供をしています。弊社は1992年に地元企業様や行政を中心に設立して頂いた会社です。お蔭

様で昨年、開局30周年を迎える事ができました。そもそもケーブルテレビは、テレビ放送がアナログだった頃、難視聴対策として立ち上がったものです。このエリアでは、新幹線による難視聴を解消するため重宝されました。そして1998年にはインターネットサービスを開始しました。当時多くのプロバイダーが従量課金だったのですが、弊社は月額固定、つまり使い放題だったため、多くの加入を頂きました。また2007年には電話のサービスも開始しました。この3つの主なサービスで、現在はエリア世帯の60%を超える皆様にご利用頂いています。さてケー

ブルテレビ業界は、コンペチター（同業他社）との加入獲得で常に競争しています。そんなコンペチターとの差別化ツールの中で大きなものが、地域情報をお伝えする「コミュニティチャンネル」です。これは弊社独自に番組編成・制作をしているチャンネルです。様々な角度、手法で地域の人・物・歴史・文化などを番組としてお伝えするのはもちろんの事、地域の映像資産としても記録しています。ところで最近は大きな地震や大雨など自然災害が頻発しています。弊社は、地域住民の命と財産を守るため、地域に密着した災害放送に力を入れています。これは2000年に起きた東海豪雨がきっかけでした。まだまだ力のなかった私達は、地域住民の皆様にも何も貢献できませんでした。その反省から、災害放送訓練はもちろんの事、コミュニティFMも設立して、地域を守る活動をしています。弊社はインフラサービスを提供するだけでなく、地域の放送局として、皆様が必要と思ってもらえる企業を目指しています。今後の弊社の取組にも是非ご指導ご鞭撻お願い致します。

## 第10回理事会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
  
- II 議 題
  - 1. 4月・5月のプログラム(案)について  
〈クラブ奉仕委員長〉  
〈プログラム委員長〉
  - 2. 職業表彰について 〈職業奉仕委員長〉
  - 3. ロータリー文庫について 〈社会奉仕委員長〉
  - 4. 小堤西池カキツバタ支援金について 〈社会奉仕委員長〉
  - 5. その他
  
- III 会場監督の所見